

BOOKOFF

Reclothes Cup 2026

国内最大級のアップサイクル・デザインコンテスト

開催のご案内

Reclothes Cupとは

ブックオフの古着を活用し、自由な発想で新たな価値を生み出すアップサイクルのコンテストです。サステナブルな視点で素材を見直し、**人々をワクワクさせる作品制作**を行っていただきます。多様なクリエイターが集う機会を作り、循環型社会の実現に貢献していきます



サステナブルな視点

古着の価値を再発見し、資源循環を推進します



自由な発想

素材の個性を活かした自由なクリエイティブを行う場を提供します



ワクワクする作品

人を感動させる体験とストーリーを作品という形で表現してください

アップサイクルの祭典

ブックオフの店舗で出会う古着を生かして、デザインと循環を両立。

#BOOKOFF #Reclothes Cup



なぜブックオフが開催するのか

リユースの現場から、循環とクリエイションを加速させるための3つの理由



ブックオフはリユースを通してモノの寿命を延ばすことを事業根幹としている企業です

ブックオフは事業を通して人々にリユースを身近なモノにしてきました。今後はリユースのみにとどまらず、このコンテストを通してアップサイクルを人々にとって身近なものにしていきたいと考えています。

またブックオフで古着の取扱いのあることをよりたくさんの方に知っていただき、さらなるモノの循環を進めていきます。



学生やクリエイターの発表機会創出と若手人財の育成

学生・クリエイターの挑戦を応援し、社会に新たな価値とストーリーを届ける場を提供することで、アップサイクルに触れる機会を増やし、人財の育成にも貢献していきたいと考えています。



店舗に眠る多様な古着に新たな命を吹き込み循環を加速

衣類の大量廃棄が環境問題とされている昨今。アップサイクルで衣類の価値を再創造し、次の持ち主へつなぐ循環を広げます。新しい服のあり方を提案していきたいと考えています。

応募部門のご案内

目的に合わせて選べる「デザイン部門」と「販売部門」。評価観点とアウトプットが異なります。



デザイン部門

クリエイティブ評価

- ✓ テーマ：自由
アップサイクルの発想を自由に表現してください
- ✓ 制作作品：トータルコーディネートでの提案
- ✓ 審査基準：古着の活用度や独創性、物語性を重視



販売部門

マーケット評価

- ✓ テーマ：ライダースジャケット
- ✓ 制作作品：ライダースジャケット**1着**のみ
- ✓ 審査基準：“販売可能”である仕立て・仕様であり、“再現性”を重視した設計であること

デザイン部門 応募要項 (2026)



対象

学生（個人／チーム可）

着脱可能で、縫製された服を制作できる方



提出物

必須：デザイン画(A4サイズ)+エントリーシート（所定様式DL）

任意：選んだ素材の写真一覧(所定様式DL)



主条件

✓ ブックオフの古着を活用

✓ トータルコーディネートで提示

✗ AIによるデザイン作成不可

⊘ ブランドロゴ・キャラクター使用不可



評価ポイント

✓ デザイン性・独創性

✓ 古着の活用度と素材選定の理由

✓ デザイン画の再現性

✓ 今までにない、古着(素材)の活用方法が考えられているか

販売部門 応募要項 (2026)

テーマ：ライダースジャケット



対象

一般（個人／チーム可）

※自身でブランドを始めて3年以上経過している方は不可



提出物

必須：デザイン画(A4サイズ)+エントリーシート+販売計画書
(所定様式DL)

任意：選んだ素材の写真一覧(所定様式DL)

※最終審査に進み作品の提出を行う際にはパターンの提出も必須となります。



主条件

- ✓ ブックオフの古着を活用
- ✓ 再現性を重視した設計
- ✓ そのまま着用可能な完成度
- ✗ AIによるデザイン作成不可
- ⊘ ブランドロゴ・キャラクター使用不可



評価ポイント

- ✓ 再現性
- ✓ 販売の可能性
- ✓ デザイン性
- ✓ 古着の活用度と素材選定の理由

詳細・様式DL：公式サイトをご確認ください

作品制作の条件 [両部門]



使用素材

✓ ブックオフの古着を使用：1,500円未満のメンズ／レディース／キッズの服、靴、バッグ、小物（スカーフ等）

※ブックオフの商材以外にも製作に使用可ですが、あくまでもメインはブックオフの商材であることが条件です

✓ 作品の強度、完成度向上に必要な副資材の使用可

⊘ ブランドロゴ／ロゴマーク／キャラクターの使用不可



着用性・表現ルール

✓ 着用可能・脱着可能であること（ショー着用を想定）

✗ 既製品にペイントのみでの提出は不可(縫製工程が有る事)

👕 ペイントは洗濯耐性のあるものを使用すること



提出要件

☰ 使用した素材はすべて一覧化し提出（所定フォーマット：公式サイトよりDL）

☰ 販売部門は作品と一緒にパターンをご提出いただきます

👤 デザイン部門の作品はトータルコーディネートで提出（小物は任意／運営上必要となる場合あり）

スケジュール（2026年版）

エントリーから最終審査までの流れを時系列でご確認ください。



説明会・相談会スケジュール 補足

コンテスト説明会

2026年4月14日 (火) / ZOOM

URLは公式サイトで公開

個別相談会（オンライン or 現地）

希望者向け / 事務局までご連絡ください

作品制作相談会

2026年7月2日 (水) 18:00～

一次審査通過者向け（作品制作の相談）

詳細は公式サイトをご確認ください

※詳細時間・実施方法は公式サイトで随時案内します。説明会URL・申込方法も同様に公式サイトでお知らせします。

賞金・副賞



デザイン部門

クリエイティブ評価



グランプリ

賞金 30万円 + 装苑への作品掲載



準グランプリ

賞金 10万円



ブックオフ賞

賞金 5万円



販売部門

マーケット評価



グランプリ

賞金 10万円 + 展示／商談機会の提供（例：出展サポート等）

審査員



審査員長 児島 幹規

株式会社インターメスティック CDO

1992年 専修大学経済学部経済学科卒業。同年世界文化社入社 Begin編集部配属。2004年 Begin編集長就任 2009年MEN'S EX編集長就任。

2014年10月 から文化学園 文化出版局 出版事業部長 兼 装苑編集長就任。2024年 6月まで文化学園在籍の間、香蘭ファッションデザイン専門学校の他、文化服装学院、大阪文化服装学院、名古屋ファッション専門学校、中部ファッション専門学校、マロニエファッション専門学校におけるファッションコンテストの審査や、毎日ファッション大賞にて審査員を務める。2024年7月 Zoffを運営するインターメスティック チーフ デザイン オフィサーに就任。同時に大阪文化服装学院にて特別教員に就任。その他の服飾専門学校におけるコンテスト審査も務めている。



審査員 相澤 樹

スタイリスト

2005年よりフリーのスタイリストとして活動開始。

雑誌でのスタイリングをはじめアーティストのCDジャケットやMV、広告、TVCMなどで活躍するかたわら、衣装デザイン、エディトリアルディレクション、アニメ衣装の監修、空間プロデュースなど多方面でも活動中。

2021年に東京で開催されたパラリンピック閉会式では衣装ディレクターとして参加。

2017年ラッキースター所属



審査員 渡邊 睦

Blue Marble コンセプター

2000年、合同展「rooms」を設立。2002年に渡仏し、帰国後の2009年に「織研賞」、2011年には「毎日ファッション大賞 鯨岡阿美子賞」を受賞。2023年より、新しいクリエイティブに特化した **NEW ENERGY / Blue Marble** のコンセプターとして活動。

20年以上にわたり、イベントのコンセプター／クリエイティブディレクターを務めてきた経験から、企業やブランドの可能性を拡張するコンセプト設計を得意とする。さらに、多くのクリエイターとの交流を通じて、クリエイターと社会をつなぎ、新たな視点や発想から企業や社会の課題解決を目指し、幅広い分野で活躍している。



審査員 堀内 康隆

ブックオフグループホールディングス株式会社

代表取締役社長

※大阪文化服装学院は現在のヴォートレイル ファッション アカデミー

最終的な審査員情報・写真は、公式サイトおよびSNSで順次発表します。公式サイト：<https://reclouthes-cup.jp/> / Instagram：@reclouthes_cup

審査体制のご案内

■ ゲスト審査員

coming soon..

ゲスト審査員のご案内

写真・プロフィールは確定次第、公式サイト (<https://reclouthes-cup.jp/>) およびInstagram (@reclouthes_cup) で発表します。

Q&A (よくあるご質問)



店舗・素材保管

- Q. 指定店舗はどこを利用できますか？
A. 公式サイトから「指定店舗リスト」をDLし、来店前に各店へお電話ください。
- Q. 近くに店舗がない場合は？
A. Reclottes Cup事務局までメールでご相談ください。
- Q. 素材は結果発表まで保管されますか？
A. 一次審査結果発表まで店舗で取り置き対応します。



提供・交換

- Q. 素材は無償提供ですか？
A. 一次審査通過者には、1,500円未満の対象アイテムを無償提供します。
- Q. 素材の交換はできますか？
A. 作品完成・提出まで何度でも交換可（加工済みアイテムは不可）。



発送・返却

- Q. 作品の発送方法に指定はありますか？
A. 配送業者の指定はありません。必ず1作品ごとに箱に入れて宅配で送付してください。
- Q. 作品は返却されますか？
A. 提出作品は返却不可。作品の貸し出しは可／コーディネート用小物は展示終了後に返却対応。
※急いで返却が必要な場合は事務局までご連絡ください



参加・使用可否

- Q. チームでのエントリーは可能ですか？
A. 可能です。代表者がエントリーしてください。
- Q. 着物・帯・バッグ・スポーツウェア等の使用は？
A. 1,500円未満の対象アイテムであれば利用可能です。それ以外のアイテムに関しても希望がある場合は一度事務局までご相談ください。

最終審査会のご案内（2026年11月22日）

公開審査の場で最終選考を実施します。会場や観覧方法などの詳細は、決定次第公式サイトにてご案内します。



開催日

2026年11月22日（日）



会場（予定）

福岡国際会議場 多目的ホール
（福岡市博多区石城町2-1）



開催形式

公開審査（ファッションショー形式）

プログラム

審査会ファッションショー・審査員トークショー
ReclothesCollection・授賞式

配信

オンライン配信の有無は調整中（決定次第お知らせ）

観覧

一般観覧の可否・申込方法は公式サイトで順次案内

イベント情報

最新の開催詳細・観覧情報は公式サイトおよびSNSでご案内します。

#Reclothes Cup #Final2026



応募方法・お問い合わせ エントリー手順

1 公式サイトからエントリー

🌐 エントリーフォームにアクセスし、必要事項を入力します。

2 エントリーシート等をDL・記入

📄 所定様式をダウンロードし、内容を記入・準備します。

3 デザイン案・必要書類を提出（一次審査）

📁 指定の提出方法に従い、デザイン案と書類を提出します。

4 通過者は作品を提出（最終審査）

📁 一次審査通過後、指定期日までに作品を提出します。

🌐 公式サイトでエントリー

🌐 <https://reclothes-cup/>

✉ re_clothes_cup@info.bookoff.co.jp

📷 [@reclothes_cup](https://www.instagram.com/reclothes_cup)

📍 郵送先（必要書類の発送先）

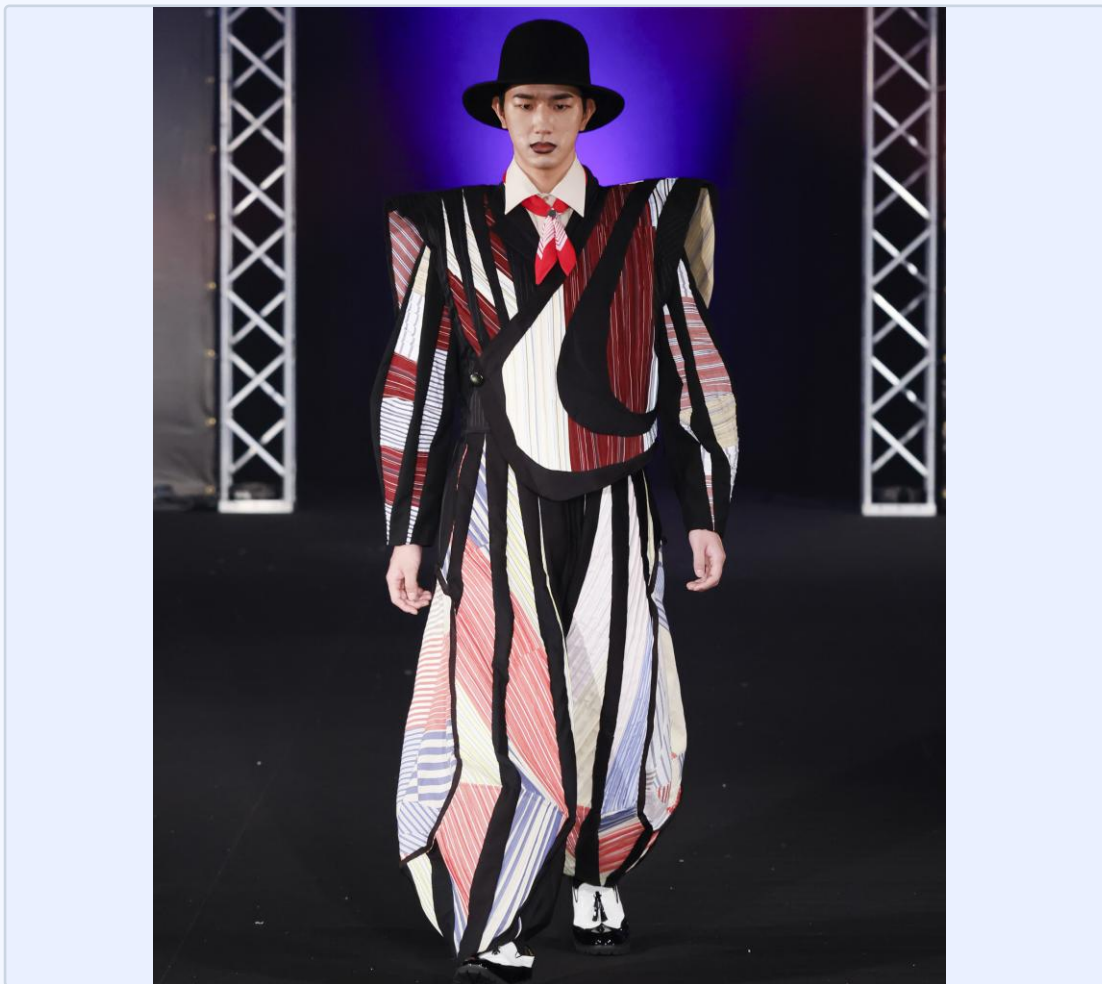
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4丁目3-8 ミーナ天神7階
BOOKOFF SUPER BAZAARミーナ天神店『Reclothes Cup 事務局』宛
郵送提出は当日消印有効

重要なお知らせ

日程・要項は変更となる場合があります。最新情報は公式サイトをご確認ください。

デザイン部門グランプリ 『LINE』

2025 受賞作品



香蘭ファッションデザイン専門学校
川端 應斗さん

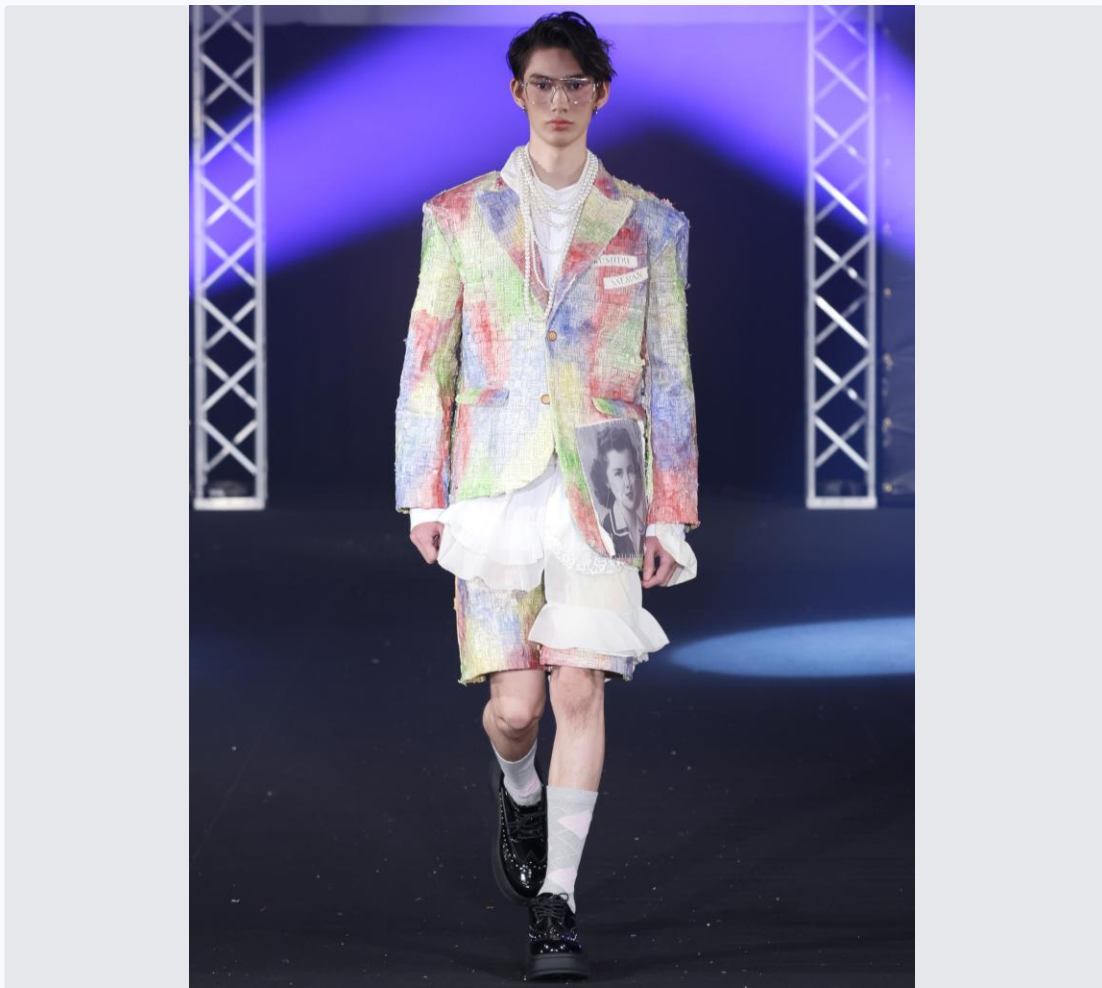
デザイン部門グランプリ

コンセプト

古着特有の柄を逆手に取り、歌舞伎衣装を彷彿とさせる赤・青・黄の三色を軸に「色の力」を解放した作品です。シャツ地にピンタックを施す独自テキスタイルにより、硬さと動きを両立。色味の緻密な調整で、動くたびに色が変わる視覚効果を狙いました。強度面ではジャケットの解体生地や学校の余り布を使い分け、パイピング等の細部まで追求。古着へのネガティブな印象を覆し、その可能性を証明する自分への挑戦として制作しました。

デザイン部門準グランプリ 『記憶の澱』

2025 受賞作品



大阪文化服装学院 照屋 琉愛空さん

デザイン部門準グランプリ

コンセプト

読まれなくなった古本のページを「記憶の澱」に見立て、衣服として再構築した作品です。細長く裁断した紙を織り込み、シリコン加工で耐久性を保持。滲むような染色は、記憶が蘇り彩られる様を表現しています。色褪せや汚れを「読まれた証＝愛」と捉え、白の古着と重ねることで記憶の揺らぎを視覚化。物質的な再利用に留まらず、本が持つ物語や精神的価値までも循環させ、過去を纏い新たな記憶を紡ぐことを目指しました。

デザイン部門準グランプリ 『記憶の澱』

2025 受賞作品



国際トータルファッション専門学校
長谷川 悠人さん

デザイン部門 BOOKOFF賞

コンセプト

読まれなくなった古本のページを「記憶の澱」に見立て、衣服として再構築した作品です。細長く裁断した紙を織り込み、シリコン加工で耐久性を保持。滲むような染色は、記憶が蘇り彩られる様子を表現しています。色褪せや汚れを「読まれた証＝愛」と捉え、白の古着と重ねることで記憶の揺らぎを視覚化。物質的な再利用に留まらず、本が持つ物語や精神的価値までも循環させ、過去を纏い新たな記憶を紡ぐことを目指しました。